

今月の例会報告

🏭 バイオガスプラントの中に入ってみよう～大野ファーム視察例会～

農業経営部会は2月24日に芽室町、(株)オオノファームに新しくできたバイオガスプラント施設を見学。33名が2グループ分かれて視察しました。

酪農でのバイオガスプラントはこれまで道内でも作られてきましたが、畜産でのバイオガスプラントは道内初。今回は稼働前の状態、すなわち糞尿を入れる前の発酵槽内に実際に入って見学させていただくことができました。

2/3ほどが地中に埋まっている構造で、高さは約6メートル、直径は27メートルです。中に入ってみると外から見るよりも狭く感じましたが、思いのほか外の光が差し込み、綺麗さも感じさせました。今回のバイオガスプラントでは発酵槽が2つとそれに伴う様々な施設が建設されました。発電量はソーラーに比べ少ないようですが、多くの酪農・畜産農家にとって課題になる糞尿の処理に大きな役割を担います。



↑プラント内

👤 ドライブスルー八百屋の取り組み

農業経営部会農業販売戦略グループは3月10日に例会を開催。今回は札幌市でBtoBを中心に成果物の卸を営む(有)水戸青果の水戸社長にお話を頂戴しました。

水戸青果では、これまで飲食店やホテルに野菜・果物を中心に卸す青果卸でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大で飲食店が大きな影響を受けると同時に自社の売り上げも大幅にストップ。このままでは生産者さんが大事に育ててくれたものを廃棄しなければならないになってしまうという危機感からBtoCの展開を模索。これまでBtoCで事業を行った経験がない中でタクシーや移動販売など様々なかたちを企画検討しましたが、そんな中でなんとかお客さんに来てもらえる方法はないかと編み出したのが、

➤ 4/8に総会を開催(農業経営部会今後の予定)

3/21を持ってようやく首都圏の緊急事態宣言が解除されました。ですが、変異株の広がりもありまだまだ油断はできない状況です。

そのような中ですが、新年度はコロナに負けず活動を活発にしていくために総会と記念講演会を開催します。講師には農林水産省 前事務次官である末松広行氏をお招きし、新しい年度の始まりにふさわしい学びの場といたします。

ドライブスルー八百屋でした。メディア戦略をしっかりとって、多くのTVや新聞に取り上げられたことでお客さんはあつという間に増え、最大時には大渋滞でクレームが来てしまうほど。現在では、コロナ禍の生活に消費者が慣れてきたこともあり、客足は落ち着いているがリピーターになってくれるお客さんもいて、特に病気があり人が多くいるスーパーへ買い物に行けないという方の支えになれていることが嬉しかったと語りました。

後半は農経部会の一大イベント、収穫感謝祭についても少し触れ、車に乗ったままできる「体験」が重要になってくると提案もいただきましたが、同時に導線や人員配置の難しさも提起がありました。

もちろん感染防止対策は十分に行ったうえで、Zoomも併設し多くの方がご参加できるように設営いたします。また、2020年度は残念ながら中止とした「収穫感謝祭」も2021年度は実施予定！新たなかたちを模索しながらの開催となりますが、8月の最終日曜日は皆さんでその年の収穫を祝いましょう！